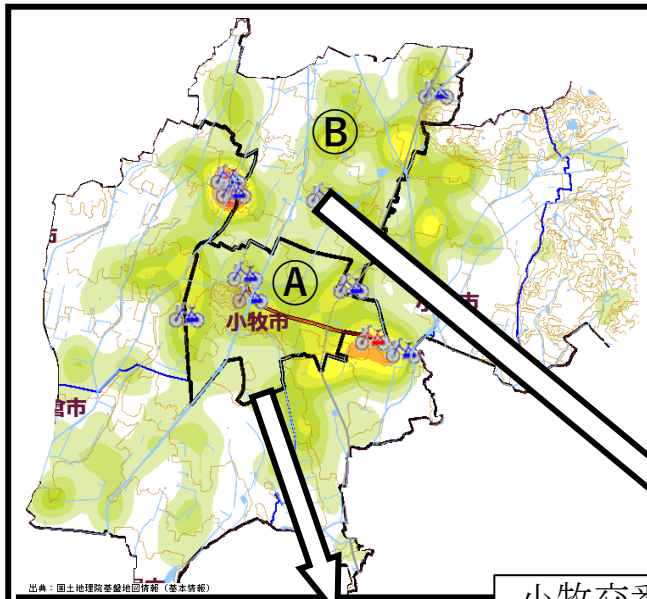
様式第３

令和６年自転車指導啓発重点地区及び路線

小牧警察署



自転車事故件数			
区分	小牧警察署 管内		
	R3.1 ～R5.10	重傷事故	死亡事故
自転車関連事故	421	9	1

この地区でよく見られる自転車利用者の違反形態

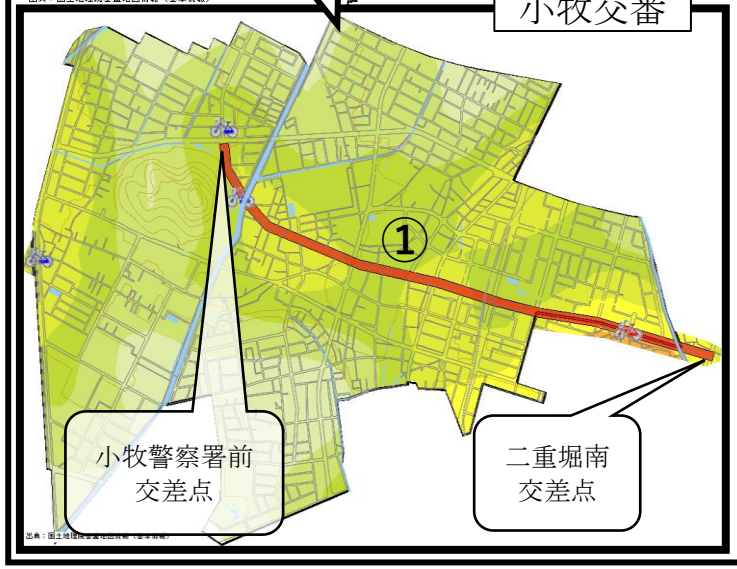
- ➢ 歩道で徐行や一時停止をしない
- ➢ 携帯電話を使用しながらの運転
- ➢ 一時不停止 ➢ 並進

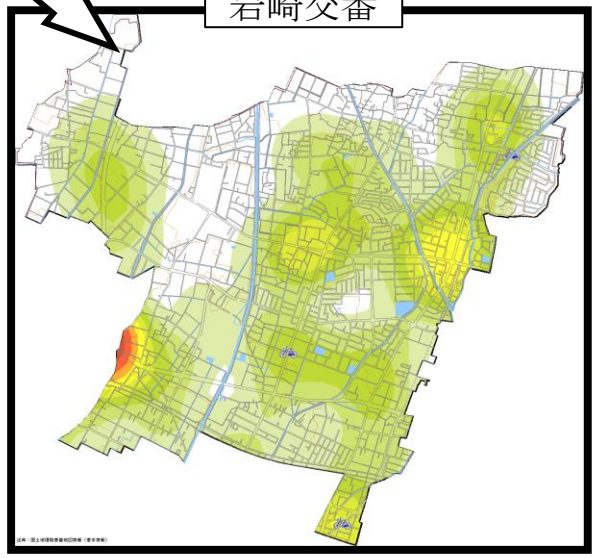
選定理由

Ⓐ 【重点地区】
小牧交番管内
選定理由
名鉄小牧駅を有し高校生を中心とした自転車利用者の多い他、複数所在する複合商業施設を中心に自転車利用者の交通が輻輳しており、引き続き対策を強化する。

Ⓑ 【重点地区】
岩崎交番管内
選定理由
自転車が当事者となる交通事故が管内で最も多く、また、重症化リスクの高い高齢者の集住地域であることから集中的な活動により、安全意識の高揚を図る必要がある。

① 小牧市道			
小牧警察署前交差点	～	二重堀南交差点	2,500 m
選定理由			
小牧市街の中心地を東西に通っており、自転車利用者が多く自転車が当事者となる交通事故が多発している。また、交通死亡事故も発生しているため対策を講じる必要がある。			





凡　例

- 自転車事故密度分布（低 ～ 高）
- 自転車指導啓発重点地区
- 自転車指導啓発重点路線
- 重傷事故発生場所
- 死亡事故発生場所

愛知県警察